

PlateSpin® Migrate 12.2.1 インストールおよびアップグレードガイド

2017年12月

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

Copyright © 2017 NetIQ Corporation, a Micro Focus Company. All rights reserved.

ライセンスの許諾

PlateSpin Migrate 9.3 以降のバージョン用に購入したライセンスを PlateSpin Migrate 9.2 以前のバージョン用に使用することはできません。

目次

このガイドについて	5
1 PlateSpin Migrateのインストール	7
1.1 PlateSpin Migrateをインストールするための準備	7
1.1.1 PlateSpin Serverのシステム要件	7
1.1.2 PlateSpin Migrate Clientのシステム要件	10
1.1.3 サーバのインストールための一般的なガイドライン	10
1.2 前提条件のソフトウェアのインストール	11
1.2.1 PlateSpin Migrateバッチファイルインストール用のVisual C++ 2013のインストール	12
1.2.2 Windows Server 2012 R2システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	13
1.2.3 Windows Server 2008 R2システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	16
1.2.4 FIPS準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化(オプション)	19
1.3 PlateSpin Migrateソフトウェアコンポーネントのインストール	20
1.3.1 PlateSpin MigrateのInstallation Launcherの開始	20
1.3.2 データベースサーバのインストール	21
1.3.3 PlateSpin Serverのインストール	21
1.3.4 PlateSpin Migrate Clientのインストール	23
1.4 バッチファイルを使用したPlateSpin Migrateソフトウェアコンポーネントのインストール	24
1.5 ソフトウェアアップデートの確認	25
2 インストールの問題のトラブルシューティング	27
2.1 一般的なインストールの問題および解決法	27
2.2 インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事	28
2.3 PlateSpinソフトウェアの削除	29
3 PlateSpin Migrateのアップグレード	31
3.1 アップグレードのための前提条件	31
3.1.1 ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認	31
3.1.2 アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ	32
3.2 Migrateのアップグレード	32

このガイドについて

このガイドは、PlateSpin Migrate 製品をインストールするための情報を提供します。

- ◆ 7 ページの第 1 章「PlateSpin Migrate のインストール」
- ◆ 27 ページの第 2 章「インストールの問題のトラブルシューティング」
- ◆ 31 ページの第 3 章「PlateSpin Migrate のアップグレード」

対象読者

このガイドは、進行中のワークロードマイグレーションプロジェクトで PlateSpin Migrate を使用するデータセンター管理者およびオペレータなどの IT スタッフを対象としています。

その他のマニュアル

このガイドは、PlateSpin Migrate マニュアルセットの一部です。このリリースをサポートする出版物の一覧表については、[PlateSpin Migrate 12.2.1 マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/) をご覧ください。

マニュアルの更新

このガイドの最新バージョンは、[PlateSpin Migrate マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/) から入手できます。

Micro Focus への連絡方法

特定の製品の問題については <https://www.microfocus.com/support-and-services/> にある、Micro Focus サポートに連絡してください。

追加のテクニカル情報またはアドバイスについては、次の複数のソースを参照してください。

- ◆ 製品ドキュメント、ナレッジベース記事およびビデオ：<https://www.microfocus.com/support-and-services/>
- ◆ Micro Focus コミュニティページ：<https://www.microfocus.com/communities/>

マニュアルサポートへのお問い合わせ

弊社の目標は、お客様のニーズを満たすマニュアルの提供です。マニュアルを改善するための提案がございましたら、Documentation-Feedback@netiq.com 宛てに電子メールをお送りください。貴重なご意見をぜひお寄せください。

1 PlateSpin Migrate のインストール

PlateSpin Migrate は、サーバオペレーティングシステム上で実行される Windows アプリケーションです。その機能は、Microsoft Internet Information Services (IIS) Web サーバソフトウェアとその機能拡張モジュール、ASP.NET Web アプリケーションフレームワーク、Microsoft .NET Framework ライブラリとランタイム、および専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンスなど、いくつかのソフトウェアコンポーネントに依存します。

PlateSpin Migrate のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、システム要件を確認し、インストール計画を立てる必要があります。

PlateSpin Migrate は Web インタフェースを備えており、このインタフェースを使用して大量のワークロードの自動マイグレーションを計画および実行できます。PlateSpin Migrate Web インタフェースは PlateSpin Migrate Server のインストール時に自動的にインストールされます。PlateSpin Migrate Web インタフェースの詳細については、『[PlateSpin Migrate 12.2.1 ユーザガイド](#)』を参照してください。

注： PlateSpin Migrate には、英語バージョンのほか、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、フランス語、ドイツ語、および日本語を設定したマシンにインストールして使用できるようにローカライズしたバージョンが用意されています。スペイン語のマニュアルも入手できます。

この項では、PlateSpin Migrate のインストール情報について説明します。

- ◆ [7 ページのセクション 1.1 「PlateSpin Migrate をインストールするための準備」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.2 「前提条件のソフトウェアのインストール」](#)
- ◆ [20 ページのセクション 1.3 「PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」](#)
- ◆ [24 ページのセクション 1.4 「バッチファイルを使用した PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」](#)
- ◆ [25 ページのセクション 1.5 「ソフトウェアアップデートの確認」](#)

1.1 PlateSpin Migrate をインストールするための準備

- ◆ [7 ページのセクション 1.1.1 「PlateSpin Server のシステム要件」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.1.2 「PlateSpin Migrate Client のシステム要件」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.1.3 「サーバのインストールための一般的なガイドライン」](#)

1.1.1 PlateSpin Server のシステム要件

PlateSpin サーバホストは、次のシステム要件を満たす必要があります。

要件	詳細
専用のホスト	物理サーバまたは仮想サーバ

要件	詳細
オペレーティングシステム	<p>次の Windows Server バージョンのいずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows Server 2012 R2 ◆ Windows Server 2008 R2 <p>Microsoft SQL Server 2014 Express Edition を Migrate サーバにローカルにインストールする場合、Windows 2008 R2 SP1 以上のバージョンを使用してください。</p> <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ PlateSpin Migrate をインストールする前に Windows オペレーティングシステムの Microsoft ライセンスを有効にする必要があります。 ◆ PlateSpin Migrate サーバを Windows Server 2012 R2 ドメインコンピュータにインストールするには、管理者特権が必要です。
プロセッサ	<p>推奨 (物理): マルチコア、2GHz 以上</p> <p>推奨 (VM): 2 つ以上の仮想 CPU</p>
メモリ	<p>推奨: 8 GB RAM</p>
ディスク容量	<p>最低 50GB</p> <p>同じシステムを PlateSpin Image Server として使用する場合は、追加のディスク容量が必要です。追加のディスク容量は、対象となるイメージサーバに保存しようとするワークロードイメージの数およびサイズに依存します。『PlateSpin Migrate 12.2.1 のユーザガイド』の「PlateSpin Image Server の指定」を参照してください。</p>
データベースサーバ	<p>次のいずれかで動作する専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンス (ローカルまたはリモート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Microsoft SQL Server 2014 Express Edition このデータベースソフトウェアは、PlateSpin Migrate ソフトウェアの配布パッケージに付属しています。 ◆ Microsoft SQL Server 2014 ◆ Microsoft SQL Server 2008 R2 <p>複数の PlateSpin Migrate Server で同じリモートデータベースサーバを使用できますが、各 Migrate Server には個別のデータベースインスタンスが必要です。『PlateSpin Migrate 12.2.1 ユーザガイド』の「データベースサーバ」を参照してください。</p>

要件	詳細
必須ソフトウェア	<p data-bbox="597 220 1386 367">注: 事前にインストールしておく必要があるソフトウェアを手動でインストールするか、または NetIQ ダウンロードサイトで提供される PowerShell スクリプトを使用することができます。詳細については、11 ページのセクション 1.2 「前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="605 399 1386 556">❑ PlateSpin Migrate のバッチファイルインストールを実行するには、ホストサーバ上に Visual C++ 2013 をインストールする必要があります。詳細については、12 ページのセクション 1.2.1 「PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール」を参照してください。<li data-bbox="605 577 1386 756">❑ すべての Windows ホスト (推奨)<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="673 619 1386 682">◆ ライセンス済みバージョンの OS がインストールされていることを確認します。<li data-bbox="673 693 1386 756">◆ 最新の適用可能な OS 更新プログラム (サービスパック、累積的なセキュリティ更新プログラム、ドライバなど) を適用します。<li data-bbox="605 777 1386 1228">❑ Windows Server 2012 R2 システムの場合<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="673 819 1386 850">◆ ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。<li data-bbox="673 871 1386 1081">◆ Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および 4.5.2。 .NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからダウンロードできます。<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="730 945 1386 1008">◆ .NET Framework 3.5 SP1 (https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=22)<li data-bbox="730 1018 1386 1081">◆ .NET Framework 4.5.2 (https://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=42642)<li data-bbox="673 1092 1386 1228">◆ Microsoft IIS 8.0 をインストールします。 詳細については、(13 ページ) Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストールを参照してください。<li data-bbox="605 1249 1386 1690">❑ Windows Server 2008 R2 の場合<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="673 1291 1386 1323">◆ ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。<li data-bbox="673 1344 1386 1554">◆ Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および 4.5.2。 .NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからダウンロードできます。<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="730 1417 1386 1480">◆ .NET Framework 3.5 SP1 (https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=22)<li data-bbox="730 1491 1386 1554">◆ .NET Framework 4.5.2 (https://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=42642)<li data-bbox="673 1564 1386 1690">◆ Microsoft IIS 7.0 をインストールします。 詳細については、(16 ページ) Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストールを参照してください。

1.1.2 PlateSpin Migrate Client のシステム要件

PlateSpin Server ホストまたは別のコンピュータに PlateSpin Migrate Client をインストールできません。

スタンドアロンの PlateSpin Migrate Client ホストは、以下のシステム要件を満たす必要があります。

要件	詳細
オペレーティングシステム	専用のハードウェア上で、または仮想マシンで実行する以下のいずれかが必要です。 <ul style="list-style-type: none">◆ Windows 8.1、8◆ Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2◆ Windows 7◆ Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 <p>注：PlateSpin Migrate Client をインストールする前に Windows オペレーティングシステムの Microsoft ライセンスを有効にする必要があります。</p>
ディスク容量	最低 3GB
Windows ソフトウェアコンポーネント	Microsoft .NET Framework 2 SP2、3.5 SP1、4.5.2。 .NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからコピーをダウンロードできます。 <ul style="list-style-type: none">◆ .NET Framework 2 SP2 (http://www.microsoft.com/download/en/details.aspx?id=1639)◆ .NET Framework 3.5 SP1 (https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=22)◆ .NET Framework 4.5.2 (https://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=42642)

1.1.3 サーバのインストールのための一般的なガイドライン

PlateSpin Migrate のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、次のインストールのガイドラインに従ってください。

表 1-1 インストール前のチェックリスト

ガイドライン	備考
<input type="checkbox"/> 専用のホスト	PlateSpin Server を専用の物理マシンまたは仮想マシンにインストールします。「コロケーション」も参照してください。
<input type="checkbox"/> 資格情報	管理権限を持つアカウントを使用してすべてのインストール手順を実行します。Windows Server 2008 R2 システムでは、組み込みの管理者アカウントを使用します。
<input type="checkbox"/> IP アドレス	PlateSpin Server ホストを静的な IP アドレスに割り当てます。

ガイドライン	備考
<input type="checkbox"/> コロケーション	<p>PlateSpin Server を次のものと一緒に使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ドメインコントローラ ◆ IIS アプリケーションをインストールした既存の Web サーバ ◆ 製品を使用して移行しようとしているワークロード ◆ 他の PlateSpin ソフトウェア (PlateSpin Protect および PlateSpin Recon)
<input type="checkbox"/> データベース	<p>(ソフトウェア配布に含まれている Microsoft SQL Server 2014 Express Edition ではなく)独自の Microsoft SQL Server データベースを使用する場合は、それがサポートされていること、および製品のデータベース要件を満たしていることを確認してください。ナレッジベースの記事 7009809 を参照してください。</p> <p>複数の PlateSpin Migrate Server で同じリモートデータベースサーバを使用できますが、各 Migrate Server には個別のデータベースインスタンスが必要です。『<i>PlateSpin Migrate 12.2.1 ユーザガイド</i>』の「データベースサーバ」を参照してください。</p>
<input type="checkbox"/> UAC	ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にします。
<input type="checkbox"/> インストールワークフロー	<p>前提条件のソフトウェアを次の順番でインストールします。一般的な PlateSpin Migrate インストールのワークフローの概要は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サポートされているオペレーティングシステム (対応する Windows 更新プログラム適用済み) 2. ASP.NET/IIS(対応する Windows 更新プログラム適用済み) 3. (オプション) FIPS 対応のデータ暗号化を有効にする 4. SQL Server データベース (該当する Microsoft 更新プログラムを適用済み) 5. PlateSpin Server

1.2 前提条件のソフトウェアのインストール

PlateSpin Migrate をインストールする前に、[必須ソフトウェア](#) : Visual C++、ASP.NET、IIS、および .NET Framework をインストールしていることを確認します。NetIQ ダウンロードサイトで提供される「PlateSpin Migrate 前提条件のインストール」スクリプトを使用して、不足しているソフトウェアをインストールし、適切な設定を適用することができます。または、このセクションの手順を使用して、前提条件のソフトウェアを手動でインストールすることができます。

スクリプトを使用して、前提条件ソフトウェアをインストールするには：

- 1 PlateSpin Migrate サーバとして使用予定のマシンに、サポートされているバージョンの Microsoft Windows Server をインストールし、Windows ライセンスを有効にします。
- 2 [NetIQ ダウンロード \(https://dl.netiq.com\)](https://dl.netiq.com) ページに移動し、PlateSpin Migrate ダウンロードのページを検索して移動します。
- 3 Install_PlateSpin_Migrate_Prerequisites.zip ファイルをダウンロードします。
- 4 ファイルを目的の PlateSpin Migrate ホストサーバに抽出します。

Install PlateSpin Migrate Prerequisites.ps1

Install PlateSpin Migrate Prerequisites.bat

readme.txt

PowerShell 実行ポリシーの [RemoteSigned] への変更をユーザに求めずに、BAT ファイルはスクリプトを実行します。

- 5 PowerShell スクリプトを実行します。

スクリプトにより、前提条件ソフトウェアが自動的にインストールされて設定されます。

- 6 20 ページの「PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」に進みます。

前提条件ソフトウェアを手動でインストールするには：

注：ソフトウェアコンポーネントのパッケージ化および配布は、サポートされている Windows Server プラットフォームのさまざまなバージョンで異なるため、手順も多少異なります。インストールおよびセットアップの指定された順序で、ターゲットプラットフォームの適切な手順を使用します。

- 1 PlateSpin Migrate サーバとして使用予定のマシンに、サポートされているバージョンの Microsoft Windows Server をインストールし、Windows ライセンスを有効にします。
- 2 Visual C++ をインストールします。
詳細については、「PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール」を参照してください。
- 3 Windows Server コンポーネント ASP .NET、IIS、および .NET Framework をインストールします。
 - ◆ Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール
- または -
 - ◆ Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール
- 4 (オプション) FIPS 対応のデータ暗号化を有効にします。
詳細については、「FIPS 準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化 (オプション)」を参照してください。
- 5 20 ページの「PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール」に進みます。

1.2.1 PlateSpin Migrate バッチファイルインストール用の Visual C++ 2013 のインストール

PlateSpin Migrate サーバのバッチファイルインストールを実行する前に、予定している Migrate サーバ上に Visual C++ 2013 をインストールする必要があります。このソフトウェアは、PlateSpin Transformation Manager によって使用されるイベントメッセージングサービスを適切にインストールするために必要です。Visual C++ 2013 の再配布可能パッケージは、PlateSpinMigrateSetup-12.2.1.X.exe ファイルで入手できます。または、Microsoft から Visual C++ 2013 パッケージをダウンロードしてインストールすることもできます。

予定している Migrate サーバ上に VC++ 2013 をインストールするには：

- 1 PlateSpin Migrate の予定しているサーバホスト上の特定の場所に、PlateSpinMigrateSetup-12.2.1.X.exe を抽出します。
- 2 ファイルブラウザで、\Migrate-12.2.1.X\PlateSpinImage\VCruntime-x64 フォルダに移動します。
- 3 管理者として vcredist_x64.exe を実行します。

1.2.2 Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Migrate Server のインストール先である Microsoft Windows Server 2012 R2 サーバに前提条件のソフトウェアをインストールします。インストールを開始する前に、7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」および 10 ページの「サーバのインストールための一般的なガイドライン」に精通していることを確認してください。

必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) および PlateSpin Server が必要とするその他のソフトウェアをインストールしてください。
 - 2a サーバマネージャを開きます。[スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [Server Manager (サーバマネージャ)] の順に選択します。
 - 2b サーバマネージャのツールバーで、[Manage (管理)] > [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] の順に選択します。
 - 2c [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードで [インストールのタイプ] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
1. インストールのタイプ	[Role-based or feature-based installation (役割ベースまたは機能ベースのインストール)] を選択し、[次へ] をクリックします。
2. サーバの選択	目的の PlateSpin Server ホストを選択し、[次へ] をクリックします。
3. サーバの役割	[Web Server (IIS)] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. [Add features that are required for Web Server (IIS) (Web Server (IIS) で必要な機能の追加)] のポップアッププロンプト	[Include management tools (管理ツールを含める)] を選択し、[Add Features (機能の追加)] をクリックします。

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
5. 機能	<p>Web Server の機能のデフォルトセットをそのまま保持し、次に示すその他の必要な機能をそのサブ機能とともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> .NET Framework 3.5の機能(すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む) ◆ HTTP アクティブ化 ◆ 非 HTTP アクティブ化 <input type="checkbox"/> .NET Framework 4.5の機能(すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 4.5 ◆ ASP.NET 4.5 ◆ WCF サービス (5/5 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — HTTP アクティブ化 — メッセージキューイング (MSMQ) アクティブ化 — 名前付きパイプアクティブ化 — TCP アクティブ化 — TCP ポート共有 <input type="checkbox"/> Windows プロセスアクティブ化サービス (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ プロセスモデル ◆ .NET 環境 ◆ 構成 API <input type="checkbox"/> XPS ビューア
6. Web Server (IIS)	<p>情報を読み、[次へ] をクリックします。</p>

[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
7. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <p>[Web Server (IIS)] > [役割サービス] (25/43 個をインストール済み):</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> Web サーバ (19/34 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ HTTP 基本機能 (4/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 既定のドキュメント — ディレクトリの参照 — HTTP エラー — 静的なコンテンツ ◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — HTTP ログ — 要求の監視 ◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 静的なコンテンツの圧縮 ◆ セキュリティ (5/9 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 要求フィルタ — 基本認証 — IP およびドメインの制限 — URL 承認 — Windows 認証 ◆ アプリケーション開発 (7/11 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — .NET 拡張性 3.5 — .NET 拡張性 4.5 — アプリケーションの初期化 — ASP.NET 3.5 — ASP.NET 4.5 — ISAPI 拡張 — ISAPI フィルタ <input type="checkbox"/> 管理ツール (6/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ IIS 管理コンソール ◆ IIS 6 管理互換 (4/4 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — IIS 6 メタベース互換 — IIS 6 管理コンソール — IIS 6 スクリプトツール — IIS 6 WMI 互換 ◆ IIS 管理スクリプトおよびツール
8. 確認	<p>インストールする役割、役割サービス、機能を確認し、[インストール] をクリックします。</p>

- 2d インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードを閉じます。
- 2e サーバマネージャを終了します。

1.2.3 Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Migrate Server のインストール先である Microsoft Windows Server 2008 R2 サーバに[前提条件のソフトウェア](#)をインストールします。インストールを開始する前に、[7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」](#)および [10 ページの「サーバのインストールための一般的なガイドライン」](#)に精通していることを確認してください。

必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを開きます。[スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [Server Manager (サーバマネージャ)] の順に選択します。

- 3 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) を、PlateSpin Server が必要とするコンポーネントとともにインストールしてください。
- 3a サーバマネージャの左ペインで [役割] を選択し、[役割] ペインで [Add Roles (役割の追加)] をクリックします。
- 3b [Add Roles (役割の追加)] ウィザードで [サーバの役割] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles (役割の追加)] ウィザード	アクション
1. サーバの役割	[Web Server (IIS)] を選択し、[次へ] をクリックします。
2. Web Server (IIS)	情報を読み、[次へ] をクリックします。

[Add Roles (役割の追加)] ウィザード	アクション
3. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、[次へ] をクリックします。</p> <p>[Web Server (IIS)] > [役割サービス] :</p> <p><input type="checkbox"/> Web サーバ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ HTTP 基本機能 (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 静的なコンテンツ — 既定のドキュメント — ディレクトリの参照 — HTTP エラー — HTTP リダイレクション — WebDAV 発行 ◆ アプリケーション開発(4/7個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — ASP .NET — .NET Extensibility — ISAPI 拡張 — ISAPI フィルタ ◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — HTTP ログ — 要求の監視 ◆ セキュリティ (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 基本認証 — Windows 認証 — ダイジェスト認証 — クライアント証明書のマッピング — IIS クライアント証明書のマッピング — URL 承認 — 要求フィルタ — IP およびドメインの制限 ◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — 静的なコンテンツの圧縮 <p><input type="checkbox"/> 管理ツール (すべてインストール済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ IIS 管理コンソール ◆ IIS 管理スクリプトおよびツール ◆ 管理サービス ◆ IIS 6 管理互換 (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> — IIS 6 メタベース互換 — IIS 6 WMI 互換 — IIS 6 スクリプトツール — IIS 6 管理コンソール
4. 確認	<p>インストールする役割と役割サービスを確認し、[インストール] をクリックします。</p>

- 3c インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles (役割の追加)] ウィザードを閉じます。
- 4 サーバマネージャを使用して、PlateSpin Server で必要とされる追加ソフトウェアをインストールします。
- 4a サーバマネージャの左ペインで [機能] を選択し、[機能] ペインで [Add Features (機能の追加)] をクリックします。
- 4b [Add Features (機能の追加)] ウィザードで [機能] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Features (機能の追加)] ウィザード	アクション
1. 機能	次に示す必要な機能とサブ機能を選択して、[次へ] をクリックします。 <input type="checkbox"/> .NET Framework (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ .NET Framework 3.5.1 ◆ WCF アクティブ化 <ul style="list-style-type: none"> — HTTP アクティブ化 — 非 HTTP アクティブ化 <input type="checkbox"/> Windows プロセスアクティブ化サービス (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> ◆ プロセスモデル ◆ .NET 環境 ◆ 構成 API <input type="checkbox"/> XPS ビューア
2. 確認	インストールする機能を確認し、[インストール] をクリックします。

- 4c インストールが完了するまで待機した後、[Add Features (機能の追加)] ウィザードを閉じます。
- 5 サーバマネージャを終了します。
- 6 目的の PlateSpin Server ホストに [Microsoft .NET Framework 4.5.2 \(https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42642\)](https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42642) をダウンロードしてインストールします。

1.2.4 FIPS 準拠データ暗号化アルゴリズムのサポートの有効化 (オプション)

PlateSpin Migrate は、FIPS (*Federal Information Processing Standards Publication 140-2*) に準拠するデータ暗号化アルゴリズムをサポートしています。

FIPS に準拠していることが必要である場合、PlateSpin Server をインストールする前に、目的の PlateSpin Server ホスト上で FIPS を有効にする必要があります。これは、ワークロードのオペレーティングシステムが FIPS 準拠モードで実行していることを検出した場合のみ、PlateSpin Migrate が FIPS 準拠モードで実行されるためです。

注: FIPS 準拠モードは、パフォーマンスに影響を及ぼし、データ転送率を最大 30% スローダウンさせる可能性があります。

FIPS 準拠アルゴリズムを有効にする

- 1 PlateSpin Migrate ホストのローカルセキュリティポリシーのセキュリティオプションに含まれる FIPS 対応アルゴリズムを有効にします。

1a secpol.msc を実行し、[ローカルポリシー] > [セキュリティオプション] を参照します。

1b [システム暗号化: 暗号化に FIPS 対応アルゴリズムを使用] セキュリティオプションを有効にします。

- 2 FIPS の ASP.NET サポートを設定します。

2a ご使用の PlateSpin Server ホストの次のディレクトリにある machine.config ファイルにアクセスします。

```
..Windows\Microsoft.Net\Framework\vX.X.XXXXX\Config
```

2b 次の内容を <system.web> の下に追加します。

```
<machineKey validationKey="AutoGenerate,IsolateApps"  
decryptionKey="AutoGenerate,IsolateApps" validation="3DES"  
decryption="3DES"/>
```

- 3 PlateSpin Server ホストの下記に一覧表示されている各ディレクトリにある web.config ファイルにアクセスし、各 web.config ファイルの <system.web> 要素の下に次を追加します。

```
<machineKey validationKey="AutoGenerate,IsolateApps"  
decryptionKey="AutoGenerate,IsolateApps" validation="3DES" decryption="3DES"/>
```

- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\PlateSpin Forge\Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\ConfigurationEditor.Web\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\Protection.WebServices\
- ◆ PlateSpin Migrate インストールディレクトリ\OfxWeb\

1.3 PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール

- ◆ 20 ページのセクション 1.3.1 「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」
- ◆ 21 ページのセクション 1.3.2 「データベースサーバのインストール」
- ◆ 21 ページのセクション 1.3.3 「PlateSpin Server のインストール」
- ◆ 23 ページのセクション 1.3.4 「PlateSpin Migrate Client のインストール」

1.3.1 PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始

- 1 Micro Focus のダウンロード (<https://www.microfocus.com/support-and-services/download/>) から、PlateSpinMigrateSetup-12.X.X.X.exe インストールプログラムをダウンロードし、目的の PlateSpin Server ホストに保存します。
- 2 このインストールプログラムを実行し、[次へ] をクリックして前提条件チェックユーティリティを起動します。

PlateSpin Server のインストール先とするホストに、前提条件チェックユーティリティからクエリが発行されます。これにより、必要なソフトウェアがすべてインストール済みで有効になっているかどうかを検証されます。ソフトウェアに関する注意やソフトウェアの不足が報告された場合、インストールを続行するには、その前提ソフトウェアをインストールするか有効にする必要があります。

- 3 **[次へ]** をクリックしてインストールプログラムを起動します。

インストールプログラムによって必要なファイルが抽出され、[Installation Launcher] ウィンドウが開きます (インストールプログラムで Microsoft SQL Server 2008 R2 または Microsoft SQL Server 2014 のローカルインストールが検出された場合、対応する **[SQL Server Express のインストール]** オプションが無効化されます)。

PlateSpin Migrate と共に配布される Microsoft SQL Server 2014 Express Edition を使用する場合は、これを最初にインストールします。

既存の SQL Server データベースを使用する場合は、データベースのインストールを省略して PlateSpin Server のインストールを開始し、要求されたら既存のデータベースを選択します。

重要: 既存のデータベースをブラウズして選択すると、次の例のようにサーバ名のデフォルト値が表示されます。

```
<database_server>\<Database_instance_name>
```

このフィールドで DB インスタンス名を明示的に指定する必要はありません。データベースサーバ名のみを指定し、デフォルトのインスタンス名は削除します。データベースのインスタンス名を指定すると、サーバの検証が失敗します。

1.3.2 データベースサーバのインストール

SQL Server 2008 R2 データベースエンジンまたは SQL Server 2014 をお持ちでない場合は、PlateSpin Migrate ソフトウェアの配布に含まれている Microsoft SQL Server 2014 Express Edition をインストールできます。

- 1 目的のデータベースサーバホストで、Installation Launcher を起動します。
[20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」](#) を参照してください。
- 2 **[SQL Server Express のインストール]** をクリックして、画面の指示に従います。
プログラムは、PlateSpin Migrate の運用に必要なデータベースサーバおよびデータベースインスタンスをインストールします。

1.3.3 PlateSpin Server のインストール

- 1 PlateSpin Server ホストをインストールする前に、次の要件を満たしていることを確認してください。
 - ◆ PlateSpin Server ホストが最小システム要件を満たしていること。詳細については、[7 ページの「PlateSpin Server のシステム要件」](#) を参照してください。
 - ◆ PlateSpin Server ホストに必要な前提条件ソフトウェアがインストールされていること。詳細については、[11 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」](#) を参照してください。
- 2 PlateSpin Server ホストで、Installation Launcher を起動します。詳細については、[20 ページの「PlateSpin Migrate の Installation Launcher の開始」](#) を参照してください。

- 3 [PlateSpin Server のインストール] をクリックし、画面の指示に従います。使用許諾契約オプションを選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [Database Connection Information (データベースの接続情報)] 画面で [参照] をクリックしてデータベースサーバを選択し、認証タイプを選択します。
- 5 (条件付き) [Authentication Type (認証タイプ)] で [Windows Authentication (Windows 認証)] を選択した場合、次のことを行います。
 - 5a [Database Administrative Credentials (データベース管理の資格情報)] 画面で、データベース管理者用の資格情報を指定します。

注: リモートデータベースへの接続を選択した場合、ドメイン管理者の資格情報か、十分な管理者権限とデータベース権限を持つドメインユーザの資格情報を指定する必要があります。

- 5b [Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして資格情報を検証し、[次へ] をクリックします。
 - 5c [Database User Credentials (データベースユーザの資格情報)] 画面で、データベースユーザの資格情報を指定します。ただし、データベース管理者と同じ資格情報を使用するには、[Same as the Database Administrator (データベース管理者と同じ)] を選択します。
 - 5d [Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして資格情報を検証し、[次へ] をクリックします。
 - 5e [Confirm SQL Connection (SQL 接続の確認)] 画面で、情報を確認します。[Back (戻る)] をクリックして SQL 接続情報を編集するか、[次へ] をクリックして先に進みます。
- 6 (条件付き) [Authentication Type (認証タイプ)] で [SQL Authentication (SQL 認証)] を選択した場合、次のことを行います。
 - 6a データベースサーバとインスタンスを指定します。
 - ◆ PlateSpin Migrate ソフトウェアの配布パッケージ(デフォルトのオプション)に含まれるローカルのデータベースサーバをインストールし、使用する場合は、ドロップダウンリストでデフォルトの選択 [(ローカル)\PLATESPINDB] をそのまま使用し、デフォルトの sa 資格情報もそのまま使用します。後ほど PlateSpin Migrate データベースインスタンスを移動したり、SQL Server パスワードを変更したりする場合は、PlateSpin Migrate データベースの接続設定をリセットする必要があります。[ナレッジベースの記事 7970523 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7970523\)](https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7970523) を参照してください。
 - ◆ リモートデータベースサーバを使用する場合は、[参照] をクリックし、ネットワーク内で利用できるデータベースサーバのリストから選択します。データベースは次の形式で指定します。
データベース_サーバ\データベース_インスタンス_名
 - ◆ カスタムポート上でデータベースサーバを実行する場合は、次の形式でデータベースを指定します。
データベース__サーバ\データベース_インスタンス_名, ポート_番号
 - 6b 選択したデータベースサーバのデータベース資格情報を指定し、[Validate Credentials (資格情報の検証)] をクリックして資格情報を検証します。
 - 6c [次へ] をクリックして、SQL 接続情報を確認します。[Back (戻る)] をクリックして SQL 接続情報を編集するか、[次へ] をクリックして先に進みます。

- 7 [IIS Configuration (IIS 設定)] 画面で、HTTP 接続と HTTPS 接続のどちらを許可するかを指定します。セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) を許可するには、**[Allow unsecured connections (HTTP) (セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) を許可する)]** オプションを選択します。

IIS サーバに署名済み SSL 証明書が存在する場合、通信プロトコルはデフォルトで HTTPS になります。ブラウザに untrusted connection 警告メッセージが表示される可能性があります。続行する方法については、ブラウザ固有のドキュメントを参照してください。

- 8 **[次へ]** をクリックし、インストールの設定を確認します。**[インストール]** をクリックし、画面プロンプトに従います。

注: PlateSpin Migrate サーバのインストール処理の完了までに、数分かかることがあります。

- 9 (オプション) **[Start the Migrate web client (Migrate Web Client の起動)]** を選択して、インストールを完了した後、すぐに PlateSpin Migrate Web Client を起動します。

1.3.4 PlateSpin Migrate Client のインストール

PlateSpin Migrate Client の場合、次の 2 つのインストールオプションがあります。

- ◆ [23 ページの「Installation Launcher からのクライアントのインストール」](#)
- ◆ [23 ページの「PlateSpin Server からのクライアントのダウンロード」](#)
- ◆ [24 ページの「クライアントの開始とライセンスの有効化」](#)

Installation Launcher からのクライアントのインストール

PlateSpin Server のインストール完了直後に Portability Suite Server と同じホスト上にクライアントをインストールするには、このオプションを使用します。

- 1 Server のインストールを完了させます。
[21 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#) を参照してください。
- 2 [インストールランチャ] ウィンドウで、**[PlateSpin クライアントのインストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
インストールプログラムは PlateSpin Migrate Client をインストールし、設定し、実行する準備をします。

PlateSpin Server からのクライアントのダウンロード

サーバのインストールが完了した後で、いつでも Web ブラウザを使用して、リモートホスト上でクライアントをインストールするためにこのオプションを使用します。

- 1 PlateSpin Server のインストールを完了します。
[21 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#) を参照してください。
- 2 目的の PlateSpin Migrate Client ホストが最小システム要件を満たしていることを確認します。
詳細については、[10 ページの「PlateSpin Migrate Client のシステム要件」](#) を参照してください。
- 3 目的の PlateSpin Migrate Client ホストで、Web ブラウザを開き、次の URL に移動します。
`http://server_host/platespinmigrate`

`server_host`の部分を、使用している PlateSpin Server ホストの実際のホスト名または IP アドレスで置き換えます。PlateSpin Server がローカルのコンピュータにインストールされる場合は、`server_host`を `localhost`に置き換えます。SSL が有効化されている場合は、URL には `https` プロトコルを使用します。

ブラウザに PlateSpin Server のホームページが表示されます。

- 4 PlateSpin Migrate Client のダウンロードリンクをクリックして PlateSpin Migrate Client ソフトウェアをダウンロードし、画面の指示に従ってそれをインストールします。

クライアントの開始とライセンスの有効化

クライアントを開始するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [PlateSpin Migrate] > [PlateSpin Migrate Client] の順をクリックします。PlateSpin Migrate Client をインストールして初めて起動する際には、ライセンスウィザードが開き、ソフトウェアのコピーを有効にするよう求めるメッセージが表示されます。製品のライセンスのヘルプについては、「[PlateSpin Migrate 12.2.1 のユーザガイド](#)」の *PlateSpin Migrate 製品のライセンス*を参照してください。

PlateSpin Migrate Web インタフェースを使用してライセンスを有効化することもできます。詳細については、[マニュアルの Web サイト \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-migrate-12-2-1/) の『*PlateSpin Migrate ユーザガイド*』を参照してください。

1.4 バッチファイルを使用した PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントのインストール

PlateSpin Migrate ソフトウェアコンポーネントをサイレントインストールするには、次の手順に従います。

- 1 [Micro Focus のダウンロード \(https://www.microfocus.com/support-and-services/download/\)](https://www.microfocus.com/support-and-services/download/) から、`PlateSpinMigrateSetup-12.X.X.X.exe` インストールプログラムをダウンロードして、前提条件のオペレーティングシステムとアプリケーションがインストールおよび設定されている目的の PlateSpin Server ホストに保存します。詳細については、「[11 ページのセクション 1.2 「前提条件のソフトウェアのインストール」](#)」を参照してください。
- 2 `PlateSpinMigrateSetup-12.x.x.x.exe` をダブルクリックして、好きなフォルダ (例: `C:\Install\`) に内容を展開します。

重要: `.exe` ファイルの内容をデフォルトのフォルダに展開しないでください。

- 3 ファイルが展開されたら、[キャンセル] をクリックしてインストールウィザードを終了します。
- 4 目的のインストールタイプに応じて、次のスクリプトの 1 つをコピーしてバッチファイルに貼り付け、必要に応じてインストールパスを変更した後、バッチファイルを実行します。

- ◆ ローカルの Microsoft SQL Server Express Edition データベースの場合

```
C:\Migrate-12.2.1.X\PlateSpinImage\ServerInstall\setup.exe /s /v/qn /v"/!*"v c:\install.log" ^
/v"DBINSTALLTYPE=customerinstall" ^
/v"IS_SQLSERVER_SERVER=(local)\PLATESPINDB" ^
/v"IS_SQLSERVER_USERNAME= domain\sqladminUser" ^
```



```

/v"IS_SQLSERVER_USER_USERNAME= domain\sqlServiceUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_PASSWORD=sqlauthenticationpwd"

```

- ◆ リモートの Microsoft SQL Server Express Edition データベースの場合

```

C:\Migrate-12.2.1.X\PlateSpinImage\ServerInstall\setup.exe /s /v/qn /v"/!*"v c:\install.log" ^
/v"INSTALLDIR=c:\Migrate" ^
/v"DBINSTALLTYPE=remotedb" ^
/v"IS_SQLSERVER_SERVER=BM7W2K12SQL\BM8INSTANCE,59977" ^
/v"IS_SQLSERVER_AUTHENTICATION=0" ^
/v"IS_SQLSERVER_USERNAME= domain\sqladminUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_USER_USERNAME= domain\sqlServiceUser" ^
/v"IS_SQLSERVER_USER_PASSWORD=sqlauthenticationpwd"

```

プロパティ	定義
DBINSTALLTYPE	データベースのインストールタイプを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 埋め込みデータベースの場合 : customerInstall ◆ リモートデータベースの場合 : remotedb
INSTALLDIR	インストールディレクトリを指定します。例 : C:\Program Files\PlateSpin Migrate Server
IS_SQLSERVER_AUTHENTICATION	使用する認証方法を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows 認証の場合 : 0 ◆ SQL 認証の場合 : 1
IS_SQLSERVER_SERVER	データベースサーバを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ ローカルデータベースの場合 : (local)\PLATESPINDB ◆ リモートデータベースの場合 : DatabaseServerName\databaseInstance
IS_SQLSERVER_PASSWORD	データベース管理者のパスワードを指定します。
IS_SQLSERVER_USER_PASSWORD	データベースサービスユーザのパスワードを指定します。
IS_SQLSERVER_USERNAME	データベース管理者のユーザ名を domain\sqladminUser の形式で指定します。
IS_SQLSERVER_USER_USERNAME	データベースサービスのユーザ名を domain\sqlServiceUser の形式で指定します。

1.5 ソフトウェアアップデートの確認

PlateSpin Migrate Client は起動する際に、製品の現在のバージョンが自動的に確認され、[利用可能なアップデート] ダイアログボックス内に利用可能なアップデートが表示されます。

システムが毎回自動的にアップデートを確認しないようにするには：

- 1 [利用可能なアップデート] ダイアログボックス内で、[起動時にアップデートを確認しない] オプションを選択します。
- 2 [OK] をクリックします。

ソフトウェアアップデートの自動チェックを再度有効化するには：

- 1 PlateSpin Migrate Client で、[ツール] > [オプション] の順にクリックします。
- 2 [一般] タブで、[デフォルトに戻す] を選択します。
- 3 [OK] をクリックします。

バージョンのアップデートを手動でチェックするには：

- 1 PlateSpin Migrate Client で、[ヘルプ] > [アップデートの確認] をクリックします。

製品の現在のバージョンが確認され、アップデートが利用可能な場合はそれが表示されます。特定のソフトウェアアップデートまたはホットフィックスをダウンロードするには、提供される URL にアクセスしてください。

2 インストールの問題のトラブルシューティング

- 27 ページのセクション 2.1 「一般的なインストールの問題および解決法」
- 28 ページのセクション 2.2 「インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事」
- 29 ページのセクション 2.3 「PlateSpin ソフトウェアの削除」

2.1 一般的なインストールの問題および解決法

問題またはメッセージ	解決方法
PlateSpin Server をデフォルト以外の場所にインストールしようとする、予期しないエラーが発生する	PlateSpin Server をデフォルト以外のディレクトリにインストールする場合は、そのディレクトリに対して ASP.NET ユーザアカウントのフルアクセスを許可する必要があります。たとえば、サーバを D:\PPS_9 にインストールする場合、ASP.NET ユーザアカウントが D:\PPS_9 に対してフルアクセスを持っていることを確認する必要があります。
HTTP 403 エラー	<p>PlateSpin Migrate は、Web サービスに対して ASP.NET を使用します。ASP.NET がサーバにインストールされていない場合、Web サービスは正しく機能せず、インストールはこのエラーで失敗します。</p> <p>ASP.NET は、NET Framework の一部として含まれています。.NET Framework をインストールする際には、IIS は ASP.NET が構成されるサーバ上にすでにインストールされている必要があります。.NET Framework が IIS より前にインストールされている場合は、.NET Framework をアンインストールして、再度インストールします。</p>

問題またはメッセージ	解決方法
http または https で IIS に接続できない ...	<p>インストール中に、PlateSpin Migrate が HTTP または HTTPS で (セットアップが既存の IIS Server で接続を試みた場合) IIS に接続できないことを表すエラーメッセージが表示されます。このエラーの原因は、通常 IIS Server の問題を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ IIS および ASP.NET が正しくインストールされていることを確認する。ナレッジベースの記事 7920595 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920595) を参照してください。 ◆ ASP.NET が IIS に正しく登録されていることを確認する。 <pre>"C:\WINDOWS\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\aspnet_regiis.exe" -i</pre> <p>この手順で問題が解決しない場合、の再インストールと IIS 分離モード用の IIS の構成については、ナレッジベースの記事 7920710 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920710) で詳細を参照してください。</p>
IIS 上で実行する他のアプリケーションを持つコンピュータへの PlateSpin Migrate のインストール	<p>これにより、インストール中およびインストール後に問題が発生することがあります。可能な場合は、IIS 上で実行する他のアプリケーションを持つコンピュータにこの製品をインストールするのを避けます。</p>

2.2 インストールのトラブルシューティングに関するナレッジベースの記事

ID	説明
7920710 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920710)	エラーメッセージ : Install Error: Cannot connect to IIS with http or https...(インストールエラー : http または https で IIS に接続できない ...)
7920718 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920718)	情報 : IIS and NTFS Permissions requirements for PlateSpin Migrate (PlateSpin Migrate に対する IIS および NTFS の許可要件)
7920595 (https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7920595)	情報 : Installing IIS and ASP.NET v2.0 (IIS および ASP.NET v2.0 のインストール)

2.3 PlateSpin ソフトウェアの削除

この処理は、PlateSpin Migrate のソフトウェアコンポーネントをアンインストールするために必要な手順の概要を示し、オプションの手動クリーンアップを実行します。この手順は、アップグレードや以前のバージョンに関する問題からの回復に必要な可能性があります。

ソースワークロードのマイグレーション後のクリーンアップについては、『[PlateSpin Migrate 12.2.1 ユーザガイド](#)』の「[ソースワークロードのマイグレーション後のクリーンアップ](#)」を参照してください。

注：この手順では、サーバからライセンス情報が削除されることはありません。

- 1 Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Migrate Client をアンインストールします。
 - 2 Windows のコントロールパネルを使用して、PlateSpin Server をアンインストールします。
 - 3 (オプション) PlateSpin Migrate のインストールプログラムからローカルデータベースサーバをインストールした状況で、そのデータベースが必要ではなくなった場合、Windows のコントロールパネルを使用して、Microsoft SQL Server 2014 Express Edition をアンインストールします。
 - 4 PlateSpin Migrate コンポーネントのプログラムディレクトリが削除されていることを確認します。
 - 4a PlateSpin Server のホームディレクトリが削除されていることを確認します。
..\PlateSpin Migrate Server
 - 4b PlateSpin Migrate Client のホームディレクトリが削除されていることを確認します。
..\PlateSpin Migrate Client
 - 4c (オプション) Microsoft SQL Server 2014 Express Edition データベースサーバをインストールしている状況からそれをアンインストールする場合は、次のディレクトリを削除します。
..\Program Files\Microsoft SQL Server
-
- 警告：**別の SQL サーバが PlateSpin Migrate ホストにインストールされている場合は、SQL ディレクトリを削除しないでください。
-
- 5 IIS マネージャーを開いて、ofxweb および PlateSpinMigrate 仮想ディレクトリが削除されていることを確認します。
 - 6 ホストを再起動します。

3 PlateSpin Migrate のアップグレード

PlateSpin Server を PlateSpin Migrate 12.2.1 にアップグレードするには、中間パッチやホットフィックスが適用されているかどうかにかかわらず、PlateSpin Migrate 12.2 がインストールされている必要があります。他の直接アップグレードはサポートされていません。

重要：アップグレード実行前の確認事項

- ◆ 診断を実行して、アップグレード前に実行されるジョブに関する詳細な診断レポートを生成します。アップグレード後に、アップグレード前に実行したジョブに関する診断レポートを作成することはできません。
- ◆ Migrate Client を閉じます。

-
- ◆ [31 ページのセクション 3.1 「アップグレードのための前提条件」](#)
 - ◆ [32 ページのセクション 3.2 「Migrate のアップグレード」](#)

3.1 アップグレードのための前提条件

アップグレードする前に、データをバックアップしてインポートする環境を準備します。

- ◆ [31 ページのセクション 3.1.1 「ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認」](#)
- ◆ [32 ページのセクション 3.1.2 「アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ」](#)

3.1.1 ターゲットクラウドコンテナの有効な資格情報の確認

ターゲットクラウドコンテナの Migrate データベースの資格情報がエクスポートおよびインポート時に有効である必要があります。パスワードは、エクスポート後、およびアップグレード後にインポートが完了するまで、変更したり有効期限切れにならないようにしてください。パスワードの有効期限が迫っている場合は、クラウドプロバイダ環境でパスワードを変更し、エクスポートを開始する前に Migrate で資格情報を更新します。

警告：資格情報がインポート時に無効の場合は、クラウドコンテナがインポートされず、その関連付けられているワークロード設定がインポートされたデータベースで破損します。ターゲットクラウドコンテナへのマイグレーション用に同じ Migrate サーバを使用するには、PlateSpin Server を再インストールする必要があります。これにより、データベースがリセットされます。すべてのターゲットコンテナとワークロードを再設定する必要があります。

3.1.2 アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ

アップグレード時に、PlateSpin Migrate のインストールプログラムによって既存のデータベースからデータが透過的にエクスポートされ、必要に応じてそのデータが新しいデータベースに再インポートされます。ただし、さらなる予防措置として、アップグレード前にデータをバックアップすることを忘れないでください。

- 1 サーバホスト上で、MS SQL サービスを停止します。
 - 1a [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力し、[OK] をクリックします。
 - 1b [サービス] ウィンドウで [SQL Server] 項目を右クリックし、[停止] を選択します。
- 2 すべての *.mdf ファイルと *.ldf ファイルを、製品インストールディレクトリ外の場所にコピーします。これらのファイルのデフォルト場所は次のとおりです。
\\Program Files\PlateSpin Migrate Server\Database
- 3 **ステップ 1** で停止した MS SQL サービスを再起動します。

32 ページの「Migrate のアップグレード」の説明に従って、アップグレードを続行します。

3.2 Migrate のアップグレード

- 1 データをバックアップします。

詳細については、32 ページの「アップグレードの前のデータベースファイルのバックアップ」を参照してください。
- 2 Windows のコントロールパネルを使用して、クライアントアプリケーションである PlateSpin Migrate Client をアンインストールします。
- 3 サーバホスト上で PlateSpinMigrateSetup-12.2.1.X.exe インストールプログラムを起動します。
- 4 [サーバのインストール] をクリックし、画面の指示に従います。データベースインスタンスの指定を求められた場合、インストールプログラムを既存のデータベースインスタンスにポイントします。
- 5 最新の PlateSpin Migrate Client をインストールします。

23 ページの「PlateSpin Migrate Client のインストール」を参照してください。
- 6 (オプション) PlateSpin Image Server ソフトウェアが実行されているリモートホストを手動で更新します。

ナレッジベースの記事 7010799 (<https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7010799>) を参照してください。

注: インストールプログラムでは、アップグレードプロセス中にエクスポートしたデータが自動的に再インポートされないことがあります。この問題が発生した場合は、PlateSpin.ImportExport.bat ユーティリティを使用して、サーバホスト上の \\ProgramData\PlateSpin ディレクトリからこのデータを回復します。フォルダはデフォルトでは非表示です。

ナレッジベースの記事 7921084 (<https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7921084>) を参照してください。
